

編集後記

建設現場では施工プロセスの効率化や生産性の向上を目的として、日々新しい技術が導入されており、本誌では特集テーマとして「建設施工のDX」について毎年取り上げてきました。また、最近では昨年話題となったChatGPTをはじめとする生成AIが様々な分野で導入され始めており、建設分野も例外ではなく、急速に導入が始まっていることにも注目して、今月号ではDX技術の紹介に加えて生成AIを用いた技術についても取り上げることにしました。

巻頭言では、生成AIの分野に精通している馬淵様による「生成AIが建設業界にもたらす革新と課題解決」と題して、施工から維持管理まで建設分野における生成AIの様々な可能性についてご提言いただきました。

行政情報では、国土交通省が推進している「i-Construction」やその更なる推進として取りまとめた

「i-Construction 2.0」について紹介いただきました。

技術報文では、例年取り上げているDX技術やリモートコンストラクションに関する最新の事例の紹介に加えて、生成AIに関する項目を新たに追加し、建設業界での生成AIの活用事例について報告をいただきました。とくに生成AIは、この1年間で急速に耳にする機会が増えたキーワードでもあるため、その現況と用語の紹介についても触れました。

交流のひろばでは、生成AIを建設現場での安全対策に活用するという建設業界における継続的な課題でもある安全という切り口での事例について紹介いただきました。

最後に突然のご依頼にもかかわらずご協力いただいた執筆者ならびに関係者の皆様には深く感謝申し上げます。今月号を通じて、皆様から紹介いただきました情報を広く共有し、建設業界の更なるDX化や生成AI導入の一助になれば幸いです。

(加藤・岡本・桐山)

機関誌編集委員会

編集顧問

今岡 亮司	加納研之助
後藤 勇	新開 節治
関 克己	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
中岡 智信	渡邊 和夫
見波 潔	

編集委員長

中野 正則	日本ファブテック(株)
-------	-------------

編集委員

吉田 真人	国土交通省
大津 太郎	農林水産省
内海 友介	(独)鉄道・運輸機構
岡本 直樹	(一社)日本機械土工協会
河原 圭司	鹿島建設(株)
赤坂 茂	大成建設(株)
藤井 攻	清水建設(株)
桐山 茂雄	(株)大林組
出口 明	(株)竹中工務店
宮川 克己	(株)熊谷組
松本 清志	(株)奥村組
京免 継彦	佐藤工業(株)
平田 惣一	鉄建建設(株)
副島 幸也	(株)安藤・間
松澤 享	五洋建設(株)
那須野陽平	東亜建設工業(株)
佐藤 裕	日本国土開発(株)
丑久保吾郎	(株)NIPPO
室谷 泰輔	コマツ
山本 茂太	キャタピラー・ジャパン
花川 和吉	日立建機(株)
丹治 雅人	コベルコ建機(株)
漆戸 秀行	住友建機(株)
大竹 博文	(株)加藤製作所
田島 良一	古河ロックドリル(株)
鈴木 健之	施工技術総合研究所

事務局

(一社)日本建設機械施工協会

8月号「橋梁特集」予告

・道路橋に係る行政施策の近況 ・気仙沼湾横断橋 斜張橋部の設計 ・高速道路橋として日本最長のPC箱桁橋「吉野川サンライズ大橋」が開通 ・4,500tの橋桁がするすると横移動、5年半かけて準備した一括架け替え ・熊本地震により被災した南阿蘇鉄道第一白川橋梁の架け替え工事 ・大規模更新工事における生産性向上技術の開発 ・橋梁現場におけるカーゴドローンの活用 ・フォークリフトに装備する新設床版設置装置の開発 ・世界発実用化「吸引型 壁面・天井走行ロボットSPIDER」 ・3Dモデルを用いた橋梁の検査システム ・NEC、衛星SARとAIを活用し、橋の崩壊につながる重大損傷を発見する技術を開発 ・ドローン空撮で100メートル先の微小変形計測 ・FRP部材を用いた劣化したRC床版の延命化工法 ・VIM/CIMモデルを活用した橋梁VR

【年間定期購読ご希望の方】

- ①書店でのお申し込みが可能です。お近くの書店へお問い合わせください。
②協会本部へのお申し込みは「年間定期購読申込書」に必要事項をご記入のうえFAXをお送りください。

詳しくはHPをご覧ください。

年間定期購読料(12冊) 10,032円(税・送料込)

建設機械施工

第76巻第7号(2024年7月号)(通巻893号)

Vol. 76 No. 7 July 2024

2024(令和6)年7月20日印刷

2024(令和6)年7月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 金井 道夫

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 本部 一般社団法人 日本建設機械施工協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <https://jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所 〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154

電話 (0545) 35-0212

北海道支 部 〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8

電話 (011) 231-4428

東北支 部 〒980-0014 仙台市青葉区本町 3-4-18

電話 (022) 222-3915

北陸支 部 〒950-0965 新潟市中央区新光町 6-1

電話 (025) 280-0128

中部支 部 〒460-0002 名古屋市中区丸の内 3-17-10

電話 (052) 962-2394

関西支 部 〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4

電話 (06) 6941-8845

中国支 部 〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22

電話 (082) 221-6841

四国支 部 〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22

電話 (087) 821-8074

九州支 部 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-4-30

電話 (092) 436-3322

本誌上への
広告は



有限会社 サンタナ アートワークスまでお申し込み、お問い合わせ下さい。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-21-5 井手口ビル4F TEL: 03-3664-0118 FAX: 03-3664-0138

E-mail: san-mich@zam.att.ne.jp 担当: 田中